

# 筑波社会科学研究

第1号 1982

栃木県の高等学校を対象とした社会科教科課程の調査報告 朝倉隆太郎 .....	1
大都市の親子関係 — 東京都新宿区の場合 — 吉田恭爾 .....	13
高校社会科地理における都市の学習指導について — 都市化の概念とその形成 — 高山直子 .....	31
日本史教育における文化史の取扱い — いきを素材とした化政文化学習の一試論 — 飯島睦子 .....	41
アイデンティティの確立と教育 — エリクソン理論を手がかりとして — 古山良平 .....	51
彙報 .....	62

# 筑波大学社会科教育学会会則

(名 称)

第 1 条 本会は筑波大学社会科教育学会と称する。

(目 的)

第 2 条 本会は社会科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。

(活 動)

第 3 条 本会は前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

1. 研究会の開催
2. 機関誌の発行
3. 資料の収集・交換
4. その他必要と認められるもの

(会 員)

第 4 条 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。

2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を納める者とする。

(本 部)

第 5 条 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科教育学研究室におく。

(役 員)

第 6 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1名      副会長 1名      評議員 若干名      幹 事 若干名  
会計監査 2名

2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
5. 役員任期は2年とする。ただし再選を妨げない。

(役員の仕事)

第 7 条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
5. 会計監査は、本会の会計を監査する。

(顧問)

第 8 条 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。

(会議)

第 9 条 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。

2. 総会は毎年 1 回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の招集によって重要な会務を審議する。
6. 幹事会は会長が招集する。

(会計)

第 10 条 本会の経費は、会費、寄附金、その他をもってこれに充てる。

2. 本会の会費は総会で定める。
3. 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日までとする。

(会則の改正)

第 11 条 会則の改正は、総会の議を経なければならない。

付 則 この会則は昭和 年 月 日から施行する。

我が国の学校教育に教科としての社会科が新設されたのは、昭和22年度であった。筑波大学の前身である東京教育大学が学制改革によって生まれたのは、その2年後の昭和24年度であり、その教育学部教育学科に社会科教育学の教室が置かれた。その伝統を受け継いだのが、筑波大学大学院博士課程教育学研究科の社会科教育学研究室である。さらに、昭和54年度には大学院修士課程教育研究科に社会科教育コースが発足し、筑波大学は、我が国最大の社会科教育関係学生数を擁する大学院を有することとなった。

現場の教育と大学院の研究とが次第に太い絆で結ばれてゆこうとする現在、さらに志を同じくする人々をも包摂して研究と社会科教育実践の発表の場を要望する声が次第に高まってきた。この学会はそうした声を反映して結成されたものであり、「筑波社会科研究」はその機関誌である。この赤ちゃんを立派に育て充実したものにするのが、とりもなおさず新しい時代の社会科教育に応える所以でもある。多くの教育者・研究者がこの志向するところを正しく受けとめて豊かな実りある成果をあげられるよう心からねがうものである。

筑波社会科研究 第1号

昭和57年2月11日印刷

昭和57年2月11日発行

発行兼  
編集  
連絡先

筑波大学社会科教育学会

茨城県新治郡桜村天王台1-1-1

筑波大学・教育学系 社会教育学研究室

B-421

朝 倉 隆 太 郎

印刷所 〒112 東京都文京区大塚1-4-7

甲 文 堂

電 話 03-947-0844

TSUKUBA Annals for the Education of Social Studies.

No. 1,

1982

- Findings of Research on the High School Curriculum of Social  
Studies in Tochigi Prefecture . . . . . Ryutaro Asakura . . . . . 1
- Parental Relationship in the Metropolitan Area : A study made at  
Shinjuku Borough of Tokyo . . . . . Kyoji Yoshida . . . . . 13
- Guidance of Urban Studies in the Geography Course of High School  
with Focus on the Concept and the Development of Urbanization  
. . . . . Naoko Takayama . . . . . 31
- A Cultural Factor to be incorporated in the Education of Japanese  
History : An Attempt for the Cultural Study of KASEI period from  
the Viewpoint of IKI . . . . . Mutsuko Iijima . . . . . 41
- Establishment of Identity and its Bearing on the Education : A Clue  
to be found in the Theory by Erickson . . . . . Ryohei Furuyama . . . . . 51